

NEWS RELEASE



2025年12月10日

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社
N高等学校・S高等学校・R高等学校

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社
学校法人角川ドワンゴ学園

「シングルマザーのフルリモート雇用が生み出す経済合理性に関するインパクト」の公表について

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社（代表取締役社長：田中 慎一）及び学校法人角川ドワンゴ学園（理事長：山中 伸一）は、このたび「シングルマザーのフルリモート雇用が生み出す経済合理性に関するインパクト」（以下、本レポート）を公表しました。

本レポートは、学校法人角川ドワンゴ学園におけるシングルマザーのフルリモート雇用に関する経済合理性と、その雇用が生み出す非財務価値を可視化することを目的に、分析およびインパクト評価を実施したものです。

角川ドワンゴ学園は2019年から、子育て等により勤務時間に制約が生じやすいシングルマザーにフルリモート雇用を提供してきました。本分析では、シングルマザーへの社会的意義に焦点が当たりがちなこの取り組みについて、角川ドワンゴ学園やシングルマザー双方にとって経済合理性を持ち、大きなインパクトをもたらす雇用制度であることを明らかにしました。さらに、ハーバード・ビジネス・スクールの「インパクト加重会計」を参考に、シングルマザーのフルリモート雇用のインパクトを独自に評価し、従来の会計ではとらえきれないインパクトの計量にも取り組みました。

本レポートを通じて、シングルマザーを対象としたフルリモート雇用における経済合理性と、事業活動が創出するインパクトへの理解が深まり、雇用安定や地位向上の促進につながることを期待しています。

【シングルマザーのフルリモート雇用が生み出す経済合理性に関するインパクトURL】
https://www.mizuhobank.co.jp/fintec/news/pdf/202512_single_mother_report.pdf

インパクトとは、従来の資本主義の“モノサシ”では捉えきれない、事業や活動の結果として生じる社会・環境的な変化や効果を指します。日本においては産官学による「インパクトコンソーシアム」が設立されるなど、インパクトへの関心が高まっています。今後は、経済価値と社会・環境価値の両立を重視したサステナブルな資本主義が求められています。

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社をはじめとする〈みずほ〉は、サステナ

ともに挑む。ともに実る。



ブルな社会の実現を目指し、金融の枠組みを超えてお客様の事業活動に貢献しながら、インパクト創出と収益創出の好循環を実現することで、企業価値の向上と社会・環境課題の解決に取り組んでいます。

【インパクトビジネスの羅針盤】

<https://www.mizuho-fg.co.jp/csr/mizuhocsr/report/pdf/compass.pdf>

「シングルマザーのフルリモート雇用に関する経済合理性」エグゼクティブ・サマリー

- 角川ドワンゴ学園における価値創造プロセス
 - 角川ドワンゴ学園では、シングルマザー雇用を起点するフルリモート体制構築、分業の徹底、業務効率化より、生徒数が大幅に増加する中でも時間外労働を大幅に削減し、ホワイトな職場を実現。生徒のみならず、教職員にとっても持続可能な未来の学校づくりを進めています。
- シングルマザーのフルリモート雇用の経済合理性の分析
 - シングルマザーの日本における労働環境、角川ドワンゴ学園の文化、職場にもたらされる多様性や職員に対するアンケート調査など多角的に分析。角川ドワンゴ学園のシングルマザーのフルリモート雇用は、社会的意義だけにとどまらない経済的な合理性があることを検証しました。今後は、角川ドワンゴ学園での活躍・貢献を基に、シングルマザーのフルリモート雇用や同様の取り組みがさらに拡大していくことが期待されます。
- シングルマザーのフルリモート雇用におけるインパクト評価
 - ハーバード・ビジネス・スクールの「インパクト加重会計」の手法を参考し算定した結果、シングルマザーのフルリモート雇用によるインパクトは年間で支払賃金の約2倍の非財務価値を創出していることが明らかになりました。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 03-4232-2600

ともに挑む。ともに実る。

